

特集



塩満 守 (19期生)

前回の寄稿後、流動化する人材市場において、「現状はどうなのか」「今後はどの様に対応したら良いか」等の問い合わせがあったので今回は転職の現状についてお話しします。
求人者の現状から言いますと、ニーズはバブル期に比べればま



第 32 号

発行所

〒157-0066

東京都世田谷区成城1-13-1

武蔵工業大学付属中・高等学校内

電話 03-3416-4161

発行責任者 金野和彦

編集責任者 清水茂

『自分の市場価値を知る』PART II

企業リストラによる転職の現状と分析

だ低いものの、ここ二三年間を見れば確実に上昇して来ています。
三十歳くらいまでの若手層であれば、職種・業種にもよりますが、求人は多いと言え、業界で言えば、コンピューターのハード/ソフトや情報・通信などに代表される未来型産業分野が突出しています。
職种的にもコンピューターS/Eを含む先端技術職に求人が集中している。また、例えば金融であれば、デリバティブのディーラーなどと言った希少

価値のあるスペシャリストに対するニーズが高い。
今現在でも三十歳位までの若手や先端技術職の人たちにとっては売手市場と言っても良い。
問題となるのは、三十歳以上のミドル層以上の人たちです。
ここに属する人たちが問題であり、現在までいわゆる年功序列型の終身雇用制度というエスカラーに乗って生きて行こうと思っ

ていた人たちで、この人たちはまだキャリア志向が低いことが挙げられます。
この人たちが売れる市場としては、まず、外資系企業が考えられる。日本経済のグローバル化が進み、日本に進出してくる外資系企業が増えた現在、外資系企業ではノン

同窓会迫る!!

日時 平成10年11月13日(金)
午後7時00分より

場所 東急ゴールデンホール
(渋谷東急文化会館8F)

会費 5,000円
(懇親会パーティー代・当日受付にて)

同期生・クラブ活動・同好会等、昔懐かしい仲間同士お互いに連絡を取りあい『出会いの場』としてご活用下さい。(遅刻可一いますぐに手帳にご記録下さい。)

新会員名簿 (平成10年版) 9月末発行される

詳細は3ページをご覧下さい

第40回拍苑祭に集まろう (詳細は4ページをご覧下さい)

《公示》同窓会総会開催について

第23回総会を下記の要領で開催いたします。同窓会員は出席ください。

同窓会も再建以来23回目の総会を迎え、機関紙『柏』の年2回定期発行、会員親睦のゴルフ大会(武蔵クラシック)の開催、柏苑祭への参加、『名簿』の自力発行等々活動の幅を広げてまいりました。これらの活動は理事会役員の方の企画について母校の先生方のご協力や、なにより多くの会員諸氏の参加によって支えられております。

今後の活動方向の検討、ご意見等何でも話し合える総会です。

記

日時 1998年11月13日(金)午後6時30分より
場所 東急ゴールデンホール(渋谷・東急文化会館8階)

議題

- 1号議案 1997年度(1997年10月1日～1998年9月30日)活動報告
- 2号議案 1997年度(1997年10月1日～1998年9月30日)決算報告
 - ①一般会計報告
 - ②名簿関係収支報告
 - ③第22回総会決算報告
 - ④繰越金内訳
 - ⑤会計監査報告
- 3号議案 1998年度(1998年10月1日～1999年9月30日)活動計画
- 4号議案 1998年度(1998年10月1日～1999年9月30日)予算案
- 5号議案 役員選出
- 6号議案 その他

懇親会開催案内

総会終了後、同一場所において懇親会を開催いたします。週末の夜、仕事を離れ、懐かしい友や先生方と飲食を共にしながら楽しいひとときを過ごしてはいかがでしょうか。お仕事の都合で総会に間に合わない方でも歓迎いたします。

日時 総会終了後(7時開会予定)
場所 総会と同じ場所
(楽しい企画を楽しんで下さい)
会費 5,000円(飲み・食べ放題)

スキルの若手より即戦力となるミドル層の求人が集中します。もちろん若手でスキルを持つている人材が居ればそれに超した事はないが、即戦力となる二十歳代の人材は少ない。従って、現状では求人対象となるのは、三十歳代以上の人材が多くなります。これが、スペシャリストやプロフェッショナルとなれば年齢層は更に高くなり、メリットとしては、

国内系企業に比べて幅広い成果主義に表れています。本人の努力と成果によっては、インセンティブやプロフィットシェアリングの形で確実に収入アップを図れるし、ポジションによってはストックオプションなどの形も取り入れられており、転職によって収入アップも期待できます。次に、期待できるのは、中小のベンチャー企業も今後その対象と

なるでしょう。なぜならば、大企業から大企業へ転職できるのは、二十歳代の若手に限られると言っても過言ではありません。年齢が上がる程、現職より上位の企業への転職は望み薄となり、国内企業の場合、転職を重ねる度、前職より規模の小さい企業に進むケースが多い。(数多くの過去の事例より) 本来、転職とは字のごとく「職」

を選ぶ事であって、会社のブランドや規模を選ぶものではありません。

自分のスキル、キャリア、プロフェッショナルを存分に発揮できる場を与えてくれる企業であれば、自分がその会社を大きくするという気概を持ってチャレンジすべきだと思います。

大企業から中小ベンチャー企業へ進むと、確かに収入はアップし難いし、福利厚生も劣るし、カルチャーギャップもあります。それは何よりも仕事量の違いです。先頭に立って、プレイングマネージャーとして働かなければなりません。

従って、それにやり甲斐を感じる人でなければ務まらないが、努力と成果が認められれば、その企業のエグゼクティブのし上がるチャンスも十分にあります。成長力のあるベンチャー企業

は、前職よりも大きな企業に化けるかもしれない。

(ケンブリッジ・リサーチ

研究所勤務)

理事会報告

事務局長 阿部 俊夫

一、「名簿」四号発行について

同窓会では四年ごとに「名簿」発行を行ってまいりました。今回は四号となり、八月発行予定で昨年七月に編集委員会を結成し準備を進めてまいりました。

本会の会員は転勤等による住所変更が多く、「栢」の発送ごとに住所不明で数十通が戻ってまいりました。今回の発行について一年前に不明者リストを発表した結果、会員の方を中心として、先方にも多くの修正依頼をいただき、よりいっそう充実した内容となりました。しかし、修正内容が予想を越えたため、発行時期を予定より一ヶ月遅らせてしまいましたことをお詫び申し上げます。

その代わりとっては変ですが、巻頭の写真集はムサ校生にとっては思い出のいっばい詰まった内容となったと自負しております。

二、創立五十周年について

本校は一九五一年四月に一期生の入学式を行い開校いたしました。以来、本年四月に四八期生を迎え、二〇〇〇年四月に五十期生を迎えます。

理事会としては五十周年記念の事業を行う

方向で検討委員会を設置し、具体案の検討に入り、一年後を目途に記念事業の内容、実施時期等を発表したいと考えております。会員の皆様からもご意見を募集したいと考えております。具体的な意見聴取の方法は次号「栢」に掲載いたします。多くの皆様のご意見と、実際の事業への参加もお願いいたします。

三、栢苑祭参加について

同窓会として栢苑祭に展示参加を始めてから今回は四回目となります。過去の参加内容は

①一期生からの卒業アルバム展示 これがなかなか評判です。

②定年を迎えられる先生の記念講義

過去には龍淵先生、中山先生、

関口先生、小笠

原先生に講義い

ただきました。

過去の授業とは

違いくだけた内

容のお話であり、大変に好評

でした。

③同窓生の休憩室

お茶、コーヒー

等を準備してあります。

④入学相談コーナー

『同窓会名簿』予約申込みが遅れた方々へのお知らせ

当同窓会々報「栢」第30号、並びに第31号にてご案内致しました『名簿第4号』（発行日：平成10年9月末日）が完成し、若干の余裕を残して事務局にございます。同窓の先輩・同輩・後輩とのコミュニケーション・情報交換等に必携。是非ご購入される方のご連絡をお待ち致しております。なお、名簿は会員（卒業生）のみに限定販売させていただきます。

締切りは11月末日です。

●名簿の規格

サイズB5 ページ数324ページ
(母校40年の歴史を語る懐かしい写真掲載)

●価格 2,800円(送料込み)

申し込み方法：「名簿第4号購入希望」と官製ハガキに記入し、(主所・氏名・卒業期、又は年度・連絡先電話番号を明記のうえ、下記宛にご投函下さい。

(会員確認のため卒業期、又は年度は必ずご記入下さい。)

〒157 東京都世田谷区成城1-13-1

武蔵工業大学附属中・高等学校内

「同窓会事務局」宛

なお、本年の同窓会・総会11月13日(金)に若干、受付にて販売いたしますので、そちらもご利用下さい。

一回目の参加時に本来予定していなかったことですが同窓生を中心とした方から、息子さんの入学相談をいただいていたいたしました。以来、相談を受け付けるようになりました。本校では基本的に卒業生の子息の入学を歓迎しております。ご相談のある方は、気楽に声をかけてください。

⑤今年からの新設コーナー

当日、会場へお越しください。種々の情報を発信しております。懐かしい友人に会えるかもしれません。

卒業生の皆さん



第40回「柏苑祭」

当日に母校を訪ねてみませんか!!



日時 平成10年10月10日(土)・11日(日)

場所 武蔵工業大学付属中・高等学校

(小田急線成城学園前駅下車徒歩10分)

新校舎 131教室

企画 ●本校の歴史を展示(卒業アルバム・時代背景年表等)

●退職される先生の講話(懇談を交えて)

10月10日(土) 午後1時~4時

10月11日(日) 〃 ~ 〃

今年から来年にかけて定年退職される下記先生方をお願い致しました。(各予定日はお問い合わせ下さい)

・西谷 優(保体)・中山茂夫(社会)

・根本志郎(物理)・向井常雄(物理)

・佐藤善一(社会)・大橋 晁(生物)

の各先生方

●進学・入学相談コーナー

同窓会として会員ご子息の母校への進・入学のご希望に対して、アドバイスを致します。

●喫茶コーナー

■上記同窓会企画の詳細については、同窓会事務局(武蔵工大付属中・高)までお問い合わせ下さい。

TEL03-3416-4161小野寺

同窓会として母校・柏苑祭への参加が定着して参りました。しかし今一步卒業生の方々のご来場が不足しております。懐かしい母校の先生方、諸先輩、意外な方との出会いが有ります。コーヒーを飲みながら、情報交換・歓談しましょう。お待ちしております。

同窓会柏苑祭担当
中澤 宏(13期生)

柏苑祭



同窓会新任理事紹介

松原 信敏(二十期生)

今後の同窓会活動にご協力宜しくお願い申し上げます。
同窓会事務局として、各卒業年度毎に理事を設けてゆきたいと考えております。奮ってご応募下さい。

編集部より

“懐かしい顔”の原稿をEメールにて投稿していただいた同窓生の方、有り難うございました。今回「柏」32号の原稿締切に少しの差で掲載できませんでした。次号以降に必ず掲載させていただきます。

お詫びと共に、お礼を心より申し上げます。
|| 編集責任者 ||

原稿募集

編集委員会では、同窓生の近況等、皆様の原稿を待っています。“懐かしい顔”コーナー・随筆・漫画等々幅広く記事を探しています。

問合せ 清水(14期生)

TEL.03-3595-0058 FAX.03-3595-0021

神田(21期生)

Email - kanda@tka.att.ne.jp

第7回 武蔵クラシック開催される!!

開催日 平成10年7月20日(祝)

会場 東名御殿場カントリー倶楽部(静岡県御殿場市)



ゴルフコンペに参加して



松島 康也(17期生)

6月の中旬、高校同期の井出淳一より来月の20日暇だろうからゴルフに行こうと言う何時もの調子で電話が有り、こちらも特別予定も入って無かったので「ああ、いいよ」と簡単に返事をして電話を切りました。

その後、月が変わって7月の予定表をみたら、7月20日(ゴルフ with 井出)の記載が有り。「あれっ、場所も時間も聞いていないぞ」と言う事で井出に適格を取り、「ところで、20日の件だけど、場所と時間を聞いていないぞ」と聞くと、そこで始めて、ムサ校のOB会のコンペであると知りました。

さて、当日は電車を乗り継いでゴルフ場に着きました。早速、着替えを済ませて2階のレストランに入ると、それらしいグループがおり、其の中に卒業以来お会いしていなかった門先生・前島先生等も参加されていたのには驚きました。(卒業時には、比れで二度と顔を合わせなくて済むと思ったものですが、卒業して28年、今はただ懐かしいだけでした。しかし、人間いやな思い出の人の顔というのは中々忘れられない様ですね。実際はこちらに非があったのですが。)

当日の私のゴルフの成績は何時ものように二日酔いでも有り、悲惨なものでした。ただ、一緒に回った同期の岩佐は、家族も会社も顧みず、年に100ラウンド回っているだけのことは有りベスグロでした。さすがです。

最後に、このコンペの為に尽力頂いた先輩、後輩の方々に感謝とお礼を申し上げます。P.S 今度の事で怒りずに又誘って下さい。

順位	競技者名	H・D C・P	NET	順位	競技者名	H・D C・P	NET	順位	競技者名	H・D C・P	NET
優勝	河野良典(24期)	28.4	68.6	9	鈴木文久(19期)	23.6	74.4	17	柿下良治(教員)	30.8	77.2
準優勝	岩佐和彦(17期)	5.6	70.4	10	斉藤嗣樹(19期)	17.6	75.4	18	渡辺真己(24期)	15.2	77.8
3	尾形俊行(24期)	15.2	71.8	11	高橋 隆(19期)	15.2	75.8	19	宮原 茂(24期)	34.5	79.5
4	白井康雄(24期)	18	72	12	井出淳一(17期)	20	76	20	熊谷政久(19期)	14	81
5	松島康也(17期)	34.3	72.7	13	門 道之(教頭)	14.6	76.4	B.B	杉浦直樹(24期)	11.4	81.6
6	三厨俊夫(19期)	20	73	14	前島 巖(教員)	34.4	76.6	BM	松原信敏(20期)	41.6	93.4
7	岡田光雄(16期)	20	74	15	野島富雄(19期)	27.2	76.8				
8	加藤直樹(24期)	20	74	16	金井英三(教員)	14	77				

尚、次回(第8回)懇親ゴルフ大会のご案内は「柏」33号平成11年2月発行にてご案内いたします。毎年7月20日(祝)を予定しております。一度是非、ご参加をお待ち申し上げます。

同窓会懇親ゴルフ実行委

宮原茂(24期生) 連絡先03-3703-1541

懐かしい顔

①卒業年度 ②最終学年時の担任 ③クラブ活動です。心良く原稿をお受けいただき本当に有難うございました。



深瀬 泰孝

- ①二十五期(昭和五十三年三月卒)
- ②佐藤紀和先生
- ③自転車部

同窓の方々お元気ですか。大変ご無沙汰しております。陽気はまだまだ暑い日が続く今日(8・27)この頃。いかがお過ごしでしょうか。卒業して20年、ちなみに20年前のこの年キャンデーズの解散 王貞治800号ホームラン 官城県沖地震 江川卓ドラフト騒動。映画は、「サタデイ・ナイト・フィーバー」「未知との遭遇」「スター・ウォーズ」歌は、「プレイバックII」「時間よ止まれ」「君のひとみは10000ポルト」…まさに光陰矢の如し。ふた昔の時間が過ぎ、その間には、進学・就職。結婚し、子供が生まれ仲間との関係も自身の友達関係から、家族ぐるみの関係

に。仲間の名刺にも徐々に長い肩書きが付き始め、みなそれぞれの職場や家庭で頑張られていることと思います。

景気低迷・毒物犯罪・洪水等暗いニュースばかりの昨今。我が神奈川の横浜高校が甲子園で優勝！久々の明るいニュースの興奮の中、卒業アルバムを引っ張り出して原稿のネタ探し。しばし気分は高校時代に…。松坂君のせいか、はたまた「懐かしい顔」のせいか、暗い気分も少しは晴れてなぜか元気が湧いてくる(皆さんもお試しあれ)。

自分自身といえますと、自宅開業10年目の自営業、家族5人の両親同居、健康だけがとりえだが、一人で外に出ることほとんど無し。さらに私は人との付き合いが下手なほうで友達も多くはありませんが、しかしこんな私でも忘れられずに今でも何人かの人から年賀状や電話・遊びの誘いをしてくれる友達があり、彼らに今までも何度と無く励まされ勇気付けられてきたことを思うと感謝の念を感じ得ません。

出口の無いトンネルは無く、過去にも大恐慌や大災害があり、それでも今があるのでそこからまた何年かするとこれも思い出の1ペー1ジになるかも知れません。

お互い無理をせず、体や心を壊さない程度に頑張つて次の時代を迎えましょう。ではまたお会いできる機会を楽しみに



遠山 守之

- ①十一期(昭和三十九年三月卒)
- ②福与 晃先生
- ③なし

私は父の仕事の関係で小学校時代二回転校しました。一回目は東京の小学校から山口県下松市の小学校へのもので、二回目は再び東京へ戻って武蔵工業大学付属の東横学園小学校への転校です。

その後、付属中学を経て高校へと進みました。当時、中学・高校そして武蔵工業大学は全て尾山台にあったので通算十年ほど尾山台に通ったこととなります。付属中学と高校の六年間を共に過ごした仲間も何人か覚えていますが結局のところ中学時代と高校時代が混ざってしまっているようです。

中学時代は一年の夏ぐらゐまで野球で汗を流しましたが野球部を退いた後は一切このサークルにも入らずにもっぱらマイペースを守って学生生活を過ごしました。高校時代に教わった先生ですぐ思い出すのは担任の福与先生、英語の川崎先生です。他にも何人か顔を覚えていますが。皆それぞれ個性たっぷりな教え方にも特徴が出ていました。学校の雰囲気

気は、かなりのびのびとしていましたが、男子校だったことが響いて全てにおいて常に物足りなさを感じていました。現在私は日揮株式会社の子会社で品質管理を主に手掛けている日揮プラントックに勤めています。仕事柄、機器類購入先のメーカー等に出向く機会が多くその際同期生の方と偶然再会する場面も何度か有りました。昔の仲間とはどんなところで会っても懐かしく感じるものです。

ここで、趣味の話に少し触れましょう。現在は健康指向的なものごとが大変流行していますが、私は本来歩くことが大変好きで十年位前から休みの度に電車等で出かけ、下車駅から先を地図や案内板を頼りに一人で散策するのを楽しむしています。散策先は殆んど案内書や雑誌等で見つけた古い寺社や城跡などです。気分的にも大変落ち着いて心地よいものです。又、かなりのスピードで歩きますので非常に寒い冬の日を除くと例外なく大汗をかきます。ただ歩いていてちよつと気になるのは、結構細い道にも車が進入してきて排気ガスと騒音に遭遇せざるを得なくなることです。この環境は何とか改善したいものです。

又、八年位前から月二回位の間隔でサイクリングを楽しんでいます。使用自転車はセミオーダーのロードサイクルで、日帰りで八十キロメートルから百キロメートルぐらい走っています。これは歩くよりずっと爽快です。

毎年、同期生の何人かと年賀状をやりとりしていますが、ここ二十年以上誰とも全く会っていません。是非何かの機会に会いたいものです。



山本 卓男

①二十四期（昭和五十二年三月卒）

②村岡 享先生

③なし

付属中高の六年間ではさまざまな先生方に出会いご指導をしていただきました。担任は中一のとときの西川先生（数学）にはじまり、中二、中三が堤先生（美術）、高一のときは小野寺先生（国語）、高二、高三が村岡先生（英語）でした。西川先生には数学研究同好会ということでお世話になり、堤先生には三者面談で教科のことをお話していただいたことと、小野寺先生には古典を指導していただき高得点がとれたこと、村岡先生には英語で厳しく指導を受けたことを覚えています。他の教科で思い出に残る先生は、数学の柴田先生です。授業中はノートをとらずに家に帰ってから思い出して書きなさいとか、二次方程式の解の判別式Dの意味、自然対数eの意味、

等号の書き方（間隔の3倍に書く）など今でも役に立っています。

学校生活では、修学旅行で中学では四国、高校では北海道と楽しい思い出も多々あります。また、現在も友人関係がある和氣有季彦君ですが先生方だけでなく一生の友人との出会いにおいても付属中高はよかったです。

最後になってしまいましたが付属中高で世話になった先生方にこの誌面を拝借して、感謝を申し上げると共に原稿を書く機会と付属中高の思い出をまとめる時を与えてくださった同窓会の山口高司さんに心より御礼申し上げます。同窓会の皆様のご健闘とご発展をお祈りしています。

母校の歌

- (一) 太古につづく 武蔵野の
みやことなりて 学ひ余の
文化の園の 花咲ける
武蔵工大高校ぞ アルママタ
- (二) 見よ清冽の 多摩川の
岸辺の春の 波さへも
三年の誓ひ 若人の
母校に寄す。 さよこやさか
アルママタ アルママタ

三番以下略



故 太田庄司
理事(3期生)

太田先輩を 偲んで

事務局

阿部俊夫(十四期生)

三期生の太田庄司さんはこの六月二十五日、喉頭ガンにより早すぎる旅立ちをされました。

太田先輩は同窓会再建時の中心メンバーであり、本会の事務局次長として再建後の苦しい時期を同士のつながりを持った理事の方々と支え、今、多くの皆さんに支持いただいている同窓会の基礎を築いてくださいました。

太田先輩の繊細な気遣いとそれを感じさせないような豪放磊落な表情、発言は多くの人に安心感と存在感を与えていただきました。

太田先輩は大学を卒業後東急百貨店に勤務されました。近年は町田店勤務となり、役職も重要度を増していらしたため日常の理事会は欠席がちでしたが、本会が総会(懇親会)の会場として東急ゴールデンホールを利用する際も影響力を発揮いただき常に特別料金の設定ができました。本会の懇親会費を低額に押さえることができてきた大きな理由です。

太田先輩を失ったことは、本会にとって痛手です。受け継いだ遺志を胸に今後も発展の道を歩んでまいります。そのニコニコしたお顔で見守っていただいていることを信じて。

母校陸上部、インターハイ出場

男子200mで関東大会優勝の快挙

6月19日から21日まで川崎市の等々カ競技場で開催された平成10年度南関東陸上競技選手権大会の男子200メートルの部で、母校陸上競技部(顧問、熊野卓・桜井利昭教諭)の高橋正樹君(2年)が、東京都大会優勝時の自己ベストタイム21秒99を0.3秒近く更新する21秒70の快記録でみごと優勝の栄冠を獲得した。

高橋君は、8月1日から5日まで、香川県丸亀市で行われた全国高等学校総合体育大会(インターハイ)に出場し、予選を勝ち抜き準決勝まで進んだが今一步のところで惜しくも決勝進出を果たせなかった。

高橋君のこの健闘は母校のクラブ活動に大きな励みとなるものでありわれわれ卒業生にとってもうれしいニュースである。後輩たちの一層の活躍を期待している。

(小野寺理事)



(写真は陸上競技部員と顧問の先生・写真右端の向かって左が熊野先生、右が桜井先生で、熊野先生のとりに中腰になっている生徒が高橋君)

編集後記

インターネットの普及率があがってきているという。今年末までには日本でも100万人に達するらしい。ちょうど一年ほど前に、「この指とまれ」というサイトを見つけた。<http://yubitoma.sphere.ne.jp>。これは、いわゆる「ヴァーチャルの同窓会サイト」である。メニューから自分の学校を選び閲覧することができる。登場したら自分が載る。自分を載せると同じく登録している人達のメールアドレスを知ることができる。そこで先輩後輩同級生の間で情報交流が始まる。私も登録してみた。何と同級生5人のうち、写真部員が3名(私を含む)。カメラ好きはインターネット好きということだろうか。

最近ではこの同窓会理事会の議事録もEメールでファイルが添付されてくるようになった。時代は変わった。便利になったのは事実だが、いつでもどこでも追いかけてられているような気もする。次回「柏」33号で掲載する。紹介文はEメールでお願いし、Eメールで受け取った。従来掲載していた「なつかしい顔」も今度はEメール受付分にしようかとも思った。また、希望者にはバックナンバーも含め電子版「柏」の自動配信も考えてみたい。そして、本当に私がやりたいのは「ヴァーチャルカンパニーむさこう」の設立だ。興味のある方、支援していただける方は kanda@tka.att.ne.jp までメールをいただきたい。

Let us make things happen!

神田清人(21期生)